

(別紙4(2))

事業所名： グループホームこころくばり

## 目標達成計画

作成日： 令和2年 10月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	毎日の食事は、業者からチルドで届いたものを温めて提供している。美味しさには定評があるが、「あつあつの揚げ物が食べたい」という声もある。	少なくとも月1回は、食事に変化を持たせ、楽しみのある食事にする。	少なくとも月1回以上は、施設の食事ではなく、外食したり、テイクアウトしたり、施設で作っている畑のとれたた野菜を使った調理レクをするなど、楽しみがある食事にしていく。	1ヶ月
2	4	運営推進会議の開催が出来なかった際には、各事業所で活動記録をまとめ、メンバーに郵送のうえ、意見を求めているが、返信用シート等は同封していない。	各事業所の活動記録を読んでいただき、ご意見を聴取できるようになる。	運営推進会議の開催が出来なかった際には、各事業所で活動記録をまとめ、メンバーに郵送のうえ、返信用シート等は同封し、ご意見を聴取できるようにする。	1ヶ月
3	1	法人理念やビジョンは毎朝の唱和により浸透しているが、事業所目標は全職員に浸透しているとは言えない。	職員全員で、事業所目標を再確認し、浸透を図る。また、ユニットごとの目標も作成できる。	職員全員で、事業所目標を再確認し、ユニットごとの目標も含めて作成を検討していく。	2ヶ月
4	11	認知症介護の法人研修は、年に2回実施しているが、外国人職員等への対応など、認知症への共通理解に差が生じないような仕組みは作っていない。	全ての職員が、認知症を理解し、適切な介護ができるようになる。	外国人職員等への認知症の理解や日本語の習熟度などには差があるので、個別のOJTなどを行い、認知症介護が適切に出来る様にしていく。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。